

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月1日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901183		
法人名	医療法人社団 旭川圭泉会病院		
事業所名	グループホーム やすらぎ		
所在地	北海道旭川市東旭川町上兵村3番地2 (電話) 0166-36-1578		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年1月31日	評価確定日	平成20年2月6日

【情報提供票より】(平成20年1月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年3月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	16人, 非常勤 人, 常勤換算 5.0人

(2) 建物概要

建物構造	コンクリートブロック 造り		
	1階建ての ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000円	その他の経費(月額)	18,000~23,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無		有りの場合償却の有無	
食材料費	朝食	400円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(1月10日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	4名	要介護2	3名		
要介護3	8名	要介護4	3名		
要介護5	要支援2				
年齢	平均 80.72歳	最低	63歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団旭川圭泉会病院・東旭川病院・小倉歯科
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

認知症専門医の母体医療法人を中核として、同一敷地内に精神障害者施設、デイケアセンターなどの総合複合施設の中のグループホームです。近隣住民や地域の人達、福祉専門学校生、中学生、ボランティアなどが参加して開催される母体法人主催の「きてみん祭」には、1000人程が参加して盛大に実施されたり、ホーム独自の「夏祭り」も開催され地域との交流も積極的に行われています。また、事故防止の為にデータ収集や分析、理念を実現するための個々の職員の目標管理、家族会や運営推進会議での意見交換や利用者の思いや意向を尊重した、趣味への支援や中学生や保育園児との交流、音楽療法やボランティアの受け入れなど積極的に取り組まれています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、地域のケアサービスの質の向上に貢献する取り組みについて提案があげられていましたが、グループホーム協議会や研究会での交流やキャラバンメイトの取り組みではホーム機能を地域に還元し、認知症に対する啓発や広報に取り組まれています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して行われると共に職員のスキルアップや研修の機会として利用されています。また、「グループホーム新聞」では、外部評価の結果、運営推進会議、家族会の内容について家族に報告されていると共に町内会にも回覧されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在5回実施されています。主な議題については各委員会の活動内容について 認知症キャラバンメイトの活動について ショートステイの活用について 外部評価を活かす取り組みについて 運営推進会議の役割について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族会との意見交換や運営推進会議でのホームの活動の報告や運営についての話し合いなど日常的に対応が行なわれています。また、苦情等の法人受付窓口を明確に掲示したり、玄関入り口に意見箱を設置して意見や苦情を表せる機会を設けています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の老人会参加や中学生、保育園児との交流、音楽療法やミュージック講演などのボランティアの受け入れなど地域との交流が積極的に行われています。また、キャラバンメイトの活動の推進や「グループホーム新聞」を定期的に発行して、町内会に回覧するなど日常生活を通じて認知症に対する広報や啓発に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体医療法人の運営理念をもとに、グループホーム独自の理念をつくり、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の達成のために、個々の職員の具体的な目標を掲げその達成度について話し合われフォローアップされている。P-D-C-Aのサイクルが機能する仕組みが整っている。		特筆すべき点として、個々の職員の目指すべき目標が明確であり、目標達成に評価されるシステムが構築されている。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の老人会参加や中学生、保育園児との交流、音楽療法やミュージック講演などのボランティアの受け入れなど地域との交流が積極的に行われています。また、キャラバンメイトの活動の推進や「グループホーム新聞」を定期的に発行して、町内会に回覧されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して行われると共に職員のスキルアップや研修の機会として利用されています。また、「グループホーム新聞」では、外部評価の結果、運営推進会議、家族会の内容について家族に報告されていると共に町内会にも回覧されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在5回開催されている。メンバーは利用者、家族、町内会役員、他施設の介護支援専門員、民生委員、児童委員、管理者及び職員で構成され具体的に活動に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>以前より外部評価結果や自己評価について行政（市担当者）に報告し、サービスの質の向上に日々取り組んでいる。また、市担当者との連携の重要性については十分理解している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族会の開催や「グループホーム新聞」の発行で、花神楽での温泉入浴の様子や花見やホーム行事参加など日常の暮らしぶりや職員の紹介、運営推進会議の内容など情報提供されている。また、金銭管理についても毎月報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会との意見交換や運営推進会議でのホームの活動の報告や運営についての話し合いなど日常的に対応が行われています。また、苦情等の法人受付窓口を明確に掲示したり、玄関入り口に意見箱を設置して意見や苦情を表せる機会を設けています。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>定期的に発行される「グループホーム新聞」で職員の顔写真付きで紹介記事が掲載されています。また、管理者は職員の資格取得やスキルアップのための取り組みの支援を積極的に行い、離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間教育計画が文書化され、積極的に内部・外部研修参加が実施されている。また、職員のスキルアップのための資格取得を奨励して支援されている。さらに看護学生などの実習生の受け入れなど職員の力量向上に取り組まれている。</p>		<p>特筆すべき点として、職員の研修後のフォローアップ及び有効性の評価が実施され、次年度の教育訓練のニーズの把握が行なわれている。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>看護実習生の受け入れや四校の中学生のインターンシップの受け入れ、保育園児との交流、グループホーム協議会・研究会で他施設との意見交換など積極的に行われ、地域を代表するグループホームのひとつです。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>認知症専門医で地域を代表する母体医療法人の中のグループホームであり、利用者及び家族の信頼は厚い。また、管理者及び職員のスキルは高く利用者の尊厳を尊重した取り組みをしている姿が印象的でした。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者アンケートを実施して、思いや意向を把握する取り組みやセンター方式を利用して利用者の過去の大事な出来事や生活歴を把握するなど本人と共に支えあう関係構築に努力している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者アンケートで利用者一人ひとりの思いや意向の把握に取り組んでいる。また、入浴や食の嗜好の把握、外出や趣味への支援、音楽療法への参加など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されて利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的になっている。また、センター方式が職員に浸透している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>個別の期間毎の評価や介護支援専門員が中心となってショートカンファレンスを随時実施し、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>看護師が常勤しており、日々変化する利用者の状況に応じて医療連携体制が活かされている。また、同一敷地内の母体法人を中心として総合的な福祉施設が整い種々の要望にも対応されています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者をよく知る看護職員が常勤しており、母体医療法人や主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について「看取り」の指針が明確化され本人・家族の意志が確認され、職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録の扱いをしている。また、身体拘束委員会で職員の共通認識を持つ取り組みを行っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者アンケートを実施して、利用者一人ひとりの希望や思いを把握して持続可能な生活を送れるように支援している。また、車椅子を極力使わないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、料理や盛り付け、配膳の準備、食器洗い等職員と利用者が一緒になって行っている。また、職員も一緒に和やかに食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ゆっくりと入浴が楽しめるように入浴剤を使ったり、みかん風呂にするなど工夫されている。また、大きな浴槽と家庭用の浴槽が用意され用途に応じて使い分けされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴が把握され、ピーズアートや新聞とり、お茶だし、洗濯物たたみ、調理の準備など「本人ができること」への生活の支援がされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩、花見や温泉入浴、花菜里ランド、紅葉狩りやドライブなど戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、鈴の音などで外出が察知できるように取り組んでいる。また、利用者が外出する時は、職員がさりげなくついていき安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>共用空間、居室など全館スプリンクラーが設置され、防火管理者が配置されている。また、火災避難訓練、自衛消防訓練も実施されている。</p>		<p>今後は、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう運営推進会議で働きかけを行う計画がされています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士によるメニューが作成され、個別の嚥下状態などによる支援も実施されている。また、具体的な食事や水分の摂取量、栄養状態に応じた補助食品の提供など個々に応じた対応がされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>コンクリートの平屋建てで、広い廊下や居間では採光が採り入れられ明るく清潔感が漂っている。また、利用者が気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられない。広いリビングには、和室のコーナーが設けられ保育園児の遊戯の発表や中学生の吹奏楽の演奏の舞台にも利用されている。広く作られた窓やベランダからは、大雪山が望めたり、広い敷地の畑や花壇などが眺められ開放感がある。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、家族の写真やビーズアートの作品、観葉植物が飾られたり、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。